

# 見附市教育センターだより



〒954-0052

見附市学校町 2 - 7 - 9

電話 / Fax 0258-62-2343

E-mail [mrised@mitsuke-ngt.ed.jp](mailto:mrised@mitsuke-ngt.ed.jp)

令和 6 年 7 月 22 日 NO. 4

名木野小学校前：遊歩道

「紫陽花の小径」

## 『手話は言語』 ～来年はデフリンピック(聴覚障害者の国際スポーツ大会)の年～

嘱託指導主事 倉上 美津枝

一昨年、難聴学級新設に関わる中で、『意思疎通支援者派遣事業(手話奉仕員や手話通訳者をろう者に派遣)』を知りました。また、昨年は手話奉仕員の講習会に半年間参加し、手話の難しさを実感しながらも、表現の面白さやろう教育について学ぶ貴重な体験になりました。ろう者とのコミュニケーションの方法の一つが手話です。しかし、手話は“言語である”ということが、一般にはあまり認識されていないと思います。2006年に国連総会で『障害者権利条約』が採択され、「手話は言語である」ことを定義。日本では2011年に障害者基本法が改定され、手話は言語であることが認められました。手話の講習会で、見附市は県内4番目に「手話言語条例」を制定したことを伺い、見附市の福祉への想いを強く感じました。



さて、ろう教育が始められて100数十年。手話でなく、口語法による教育を重視する時代がありました。子どもたちを「普通人」として、社会に送り出すことが目的です。笑福亭鶴瓶がろう者役のNHKのドラマでも取り上げられていました。「聾学校の授業で手話は一切禁止、友達同士では手話を使っていたが、見つからないようにしていた。とても辛い思い出。」と、口語法の教育を受けた人から聞いたことがあります。ろう教育によって、共通の言語(手話)で結ばれた絆は、社会制度を変革しました。しかし、目的を誤ると辛い体験や誤った思考を子どもに与えてしまいます。教育に携わるものとして省みる必要があると思いました。

世界で使用されている手話言語(国際手話)は、300ほど存在しているようです。日本で使われている手話は「日本手話」「手指日本語(指文字)」です。手話は手を使う以外に、口形、表情や目線で表現します。ですから、コロナ禍でマスクでの会話は、情報交換しにくい状況でした。ハンディキャップを減らしていくには、障害に対する配慮や理解が不可欠です。相手の立場に立って考える力や行動力を育てることは、教育の大きな役割だと考えます。難聴学級で透明マスクの使用は、まさに配慮の一つです。

マイノリティに対する差別や偏見を無くし、社会的なハンディキャップを減らすために、まずは異文化(例えば手話言語)を知ることだと考えます。そして違いを認め合い、助け合うことが当たり前となる社会の中で、すべての子どもが生き生きと生活してほしいと願っています。

来年、デフリンピックが東京で開催されます。そこでボランティアができたかと、考えていましたが、手話の短期習得は夢物語で終わりました。ましてや国際手話など夢のまた夢。けれども、今後も手話の練習を続け、知っていくことが啓発の一助になればと思っています。

※ NHK for school「手話シャワー」は手話入門として楽しく学ぶことができます。

## 巻頭写真に寄せて「春の桜、初夏の紫陽花、秋の…」

◇今年の梅雨入りが、例年より遅く6月下旬であった。梅雨のじめじめした気候は好きではないが、紫陽花を見ると元気をもらえるように感じてしまう。この紫陽花が見附市で有名な場所は何ととっても水道山・観音山公園である。この時期東側斜面一面に、10,000株程の紫陽花の花が彩り、幻想的に



水道山・観音山公園 紫陽花

花が咲いた景色は、例えようもないほどに美しいものだ。◇さて、7月初旬に、名木野小学校を訪れた。同校へは嶺崎橋ではなく、南中学校へ向かう草薙橋経由で行き、校門に入った。そのため、遊歩道の紫陽花に気付かずにいた。休憩時間、二階教室からふと外を見ると、紫陽花が列を作っているのではないか。(右写真)数十メートル離れてはいるが、とてもきれいだ。昼休みを待ち、出かけて行って驚いた。いくつかの品種が競うように咲き誇っている。この統一されていない咲き方が、最高に美しい。



名木野小学校前の遊歩道 紫陽花

夢中でシャッターを切り、素敵な写真を何枚も撮ることが出来た。この中から巻頭写真に、一枚を選ばなくてはならないのに困ったが、選んだのは大輪の花に、桜並木の枝の間から名木野小学校の白い校舎が見えるものだ。◇旧栃尾鉄道(トッテツ)線路跡地は現在、サイクリングロード(遊歩道)になっている。名木野小学校が創立130年記念で、学校前の斜面に桜の木を植樹した。これが大きく成長し、入学式の頃に素晴らしい花を見せてくれる。



また、晩秋の頃には、体育館脇の銀杏並木が黄金色に染まる。これが朝日を浴びると言葉にならないほどの美しさになるが、こんなに教育環境の良い学校は他にはない。◇校舎が新しい学校は、明るく使い勝手が良いが、長い年数をかけて、保護者や地域と共に作り上げた美しい自然に囲まれた環境の学校も素晴らしい。名木野小学校は、今年度から長寿命化(改良)工事が行われ、周りの環境に加え、校舎環境も充実していく。

## コラム 「夏休みに、『伝承館』で学びませんか」

◇栃尾鉄道(トッテツ)は、1915年から1975年までの60年の間、長岡～見附～栃尾間で運行されていた。明治の終わり頃、東山の油田開発用機材の運搬や、織物業が盛んな見附、栃尾間での人と物資の往来のために鉄道の敷設が熱望されてできたものである。



◇見附での駅は、東山から刈谷田川沿いに、椿沢、耳取、名木野、上見附、明晶、本明、太田、上北谷の8駅であり、市民に親しまれた鉄道だった。この栃尾鉄道で使用されていた駅名や行先ボード、運賃表や車掌カバンや改札錠、合図灯など多くの懐かしい道具が「伝承館」に展示されている。珍しいものでは、現在切符を買うと日付は、自動印刷されているが、日付印刷機



を見ることが出来る。また、当時の上見附駅の様子を、ミニチュア(右写真)で見ることが出来る。◇伝承館で「昔の人々の暮らし」や「耳取遺跡の出土品」を学ぶ。学校は多いが、栃尾鉄道も、ぜひ多くの学校で、学んでほしいものである。(こ)



## 4時から夢塾 「子どもの成長と運動」 実技研修

第3回「4時から夢塾」を今町小学校で6月26日(月)に、新潟県立大学の伊藤巨志先生から「運動感覚の獲得～遊びからの発見～」をテーマにして、指導を頂いた。指導の様子を簡単に紹介する。

### 1 子どもの成長と運動

(1) 運動能力は、筋力・持久力・瞬発力等の運動体力(青年期)と、運動コントロール能力：調整力(幼児・児童期)である。

また、知覚(視覚、聴覚、筋運動感覚)・予測・意思決定・記憶と、運動協応は関係性があり、多様な運動\*をすることで神経回路の形成に役立つ。 \*幼児期に体験しておくことがとても大切。

(2) 小学校6年生の体力・運動能力テスト

- ・2019年までは、ボール投げ・握力を除いた種目は右肩上がり
  - ・2020年以降は、長座体前屈を除いた種目で右肩下がり
- 特に、シャトルランの下がり方は顕著  
予想：すぐに戻る(ボール投げは難しい)

(3) モノや道具を使った身体の使い方

- ・紙鉄砲・紙飛行機・テニスボール投げ
- ・風船 腕や脚、頭でコントロール
- バレーボール・ゲーム
- ・新聞紙 二人組でやる。まねっこ ジャンケン キャッチボール

### 2 実際に運動をしてみよう

- (1) 柔軟体操、ラジオ体操、ウォーキング
- (2) 紙鉄砲 思いっきり大きな音を出す。
- (3) 紙飛行機 ボールを投げるイメージで。
- (4) テニスボール投げ 出来るだけ遠くへ。

**<参加者の声>**・手首のスナップがよりよくなると、音でわかる紙鉄砲はよい手立てだ。小学校のうちに運動神経をたくさん発達させたいと思う。

- ・遊びの中で、動き(運動感覚)が自然に身に付くって、いいなと思った。
- ・遊びから運動感覚へつなげる方法を実際に体験できる学びが多かった。
- ・体力テストの結果を分析し、自校にあった運動感覚を身に付ける方法を学びたいと思った。
- ・ボール投げは、休み時間等でボールに触れ合うことがないとなかなか身に付かないと感じている。今日の紙鉄砲や紙飛行機は楽しみながら、感覚を養うことが出来る。明日からやりたい。
- ・スポーツは楽しさが大切で、競うだけでなく、自分の成長を実感出来ることも大切にしたい。
- ・頭で分かることと、自分の体をコントロールすることは別で、難しさを感じた。子どもたち自身が、自分で自分の動きに気付き、改善していける声かけをしていきたいと思った。
- ・路線図の説明が分かり易く、色々な動きを経験させ多くの路線を作っておく大切さを知った。



伊藤巨志先生



## 4時から夢塾 「小学校外国語×ICT実践」

第4回を6月11日(火)に、見附小学校の英語専科教諭の渡邊優希先生から「小学校GIGA研修」として、同校6年3組で「外国語学習」の授業を公開して頂いた。下の〈参加者の声〉(他校からの参加者の感想)を見て頂ければと思う。考えぬかれた指導案、板書、その上に、豊かな表情と巧みなボディアクションが入り、まるで、俳優のような授業者に、力の付いた子どもたちが、生き生きと学んだ一時間であった。



渡邊 優希 先生

### 1 授業「Welcome to Japan」～お薦めの都道府県をALTの先生に伝えよう～

- (1)本時の問いをもつ T1 K先生のお薦め県の発表を聞いてどう思った。  
◎ ALTに行きたいと思ってもらえるよう、紹介の英文をレベルアップする。
- (2)問いを解決する T2 Thinking timeの後、ペアの友だちに伝えてみる。  
・Thinking timeで、前回撮影した動画を確認したりする。  
\*感想や質問、お薦めのキーワードを掲示しておく。
- T3 話を聞いて、どの県に行きたいと思ったかな。  
・英語で行きたい県を何人かに聞き、理由も聞いてみる。
- (3)今日の学びを振り返る T4 今日の授業で大事だったことは何かな。  
\*スクリーンキャプチャの動画撮影を使用し、今日のレベルアップした発表を記録に残しておく。

### 2 ミニ講座 ・今日の授業について…オクリンクでの動画再生、スライド

- ・毎時間学びの蓄積
- ・自分の英語表現の見つめ直し…スクリーンキャプチャ



〈参加者の声〉 ・小学校の英語授業のレベルの高さに圧倒された。児童は授業に大きな達成感を得て終わっていたと思う。今までの上に、更にできることが加わり素晴らしい授業だった。

- ・文構造を無意識に理解させる板書と児童のタブレットを使った発表のレベルの高さに驚いた。
- ・タブレットで様々な画像を取り込むことで、参観者も楽しく引き込まれる発表になっていた。
- ・渡邊先生が常にリアクション入りで、「みんな凄いや。頑張っているよ…」と、英語・日本語で声をかけていた。この声かけが私に足りないところと自覚した。声かけをしていきたい。
- ・渡邊先生が楽しんで授業をしている姿が印象的だった。先生自身が子どもたちの最高のモデルである。外国語の授業はゴールが命に、とても納得した。ICTの使い方も大変勉強になった。
- ・発表に原稿がなく、スライドを見ながら話す姿に驚いた。私が見ていた児童は、自分のメモと板書のカードを見て話していた。また、スクリーンキャプチャを教えて頂き有り難かった。



# 7月

# 科学教育部



《今月の1枚》  
ホウセンカ 見附中にて  
希望する学校があれば配布します。

## 【夏休み作品展・科学研究発表会を開催します】

9月28日(土)、29日(日)に夏休み作品展を、10月3日(木)に科学研究発表会開催します。科学研究発表会は、中央公民館を会場に実施します。

例年、夏休み作品展では、各校から工夫を凝らした展示物やアイデアあふれる道具、昆虫標本などが出品されています。詳しくは各校に要項を配付しています。科学に触れる充実した夏休みになるように、ご指導よろしく願いいたします。

令和5年度 見附市児童生徒  
夏休み作品展

発明工夫 工作 標本 観察記録

入場無料

＜日時＞  
令和5年9月30日(土)~10月1日(日)  
9:30~16:30

＜会場＞  
まちの駅「ネーブルみつけ」多目的広場

主催：見附市教育委員会  
見附市立小・中・特別支援学校校長会  
見附市教育センター

### 【発明工夫】

○便利なものや飾り、おもちゃなどを作成

### 【工作】

○身近なものを使って動物などの模型を作成

### 【標本】

○昆虫や植物、貝などの標本を作成

### 【観察記録】

○植物などの観察記録を夏休みの成果を作成

例年、様々な作品が出品され多数の方々が来場されます。児童・生徒が工夫を凝らした作品になるように、ご指導ください。多数の作品が集まることを楽しみにしております。

## ① テーマ設定をしよう

自然の中、授業で学んだこと、生活の中にある疑問が出発点です。「どうしてだろう？」を、大切に研究しましょう。

## ② 調べ方（観察や実験）を考えよう

テーマを基に明らかにしたいことを考え、解決方法を考えます。データを正確に集め、再現性がある実験を計画しましょう。

## ③ 観察や実験で調べてみよう

調べたい条件を揃えて、比較しましょう。実験ならば繰り返し行い、観察は毎日続けましょう。新たに疑問に思ったことがあれば、それについても、追究できると良いでしょう。

## ④ 研究結果をまとめよう

表やグラフ、図を使って、読む人がわかるようにまとめましょう。「研究の動機」→「研究の方法」→「観察・実験」→「結果」→「明らかになったこと・まとめ」の流れで研究を形にしましょう。

第59回 見附市児童生徒  
科学研究発表会

自由研究は楽しいよ!!

身近なところに不思議がいっぱい!!

大発見があるかもしれない!!

観察や実験で確かめてみよう!!

〈小学校の部門〉  
低学年 中学年 高学年

〈中学校の部門〉  
物理 生物 化学 地学

＜日時＞  
令和5年9月28日(木)  
14:05~

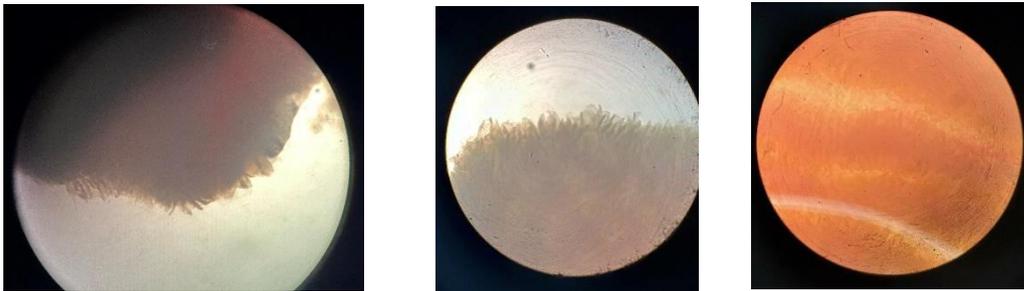
＜会場＞  
見附市中央公民館

主催：見附市教育委員会

# 科学の公園

## 柔毛の観察について

7月11日(木)、単元別研修会「中学校2年 動物のつくりとはたらき」を当センター実験室で行いました。研修会の前に、参加した先生から「柔毛を観察したことがないので、ぜひ見たいです。」というリクエストがありました。柔毛は、絨毛と書くこともあります。絨毯(じゅうたん)のように、滑らかに動く指状の突起を観察することができました。ヒトの柔毛のつくりが想像できた研修でした。詳しい観察方法はセンターにお問い合わせください。



参加した先生による柔毛の撮影

## 理科センターのアンケートについて

### 理科センターのアンケートにご協力ください！皆様の声が励みになります！

見附市教育センター科学教育部が、所属する「新潟県地区理科教育センター連絡協議会」では、各理科教育センターの実績を集約・共有し、運営に生かすことで、各センターの事業の一層の充実を図るためのアンケート調査を実施しております。

この調査は、皆様のご要望やご意見を集め、より利用者のニーズに合った運営を実現するための貴重な資料となります。

お忙しいところ恐縮ですが、ぜひアンケートにご協力いただきますよう、お願いいたします。以下の URL または QR コードからご回答をお願いいたします。所要時間は5分程度です。

<https://forms.gle/sdnHjyFi9ufgwXpi6>

